

ボランティア活動 500時間達成者に感謝状



大久保病院院長より
ボランティアの鈴木さんに
感謝状が贈られました。

平成30年の7月から8月に、明石市の社会福祉協議会の支援をいただき、当院で「病院ボランティア養成講座」を開催し、その年11月より病院ボランティアグループ『ピオラ』を立上げています。外来案内を基本として、車いす点検・季節の折り紙作成・ボランティア図書の整備・中庭アジサイの剪定・草引き・クリスマス飾り・七夕飾り・雛飾りなどボランティアの個性に合わせて活動は広がりにグリーンのエプロンとともに患者さんやスタッフにも馴染んできました。

インフルエンザやコロナの感染症により一時活動休止の時もありましたがボランティアの活動意欲は

とどまることなく皆さん意欲的に取り組まれています。

約5年の活動の結果を通して今年6月に500時間の活動を突破されたのが鈴木さんです。

外来案内の時には笑顔でてきぱきと患者様に優しく接し、患者様が外来でお困りの様子を見て業務改善の提案をいただくこともあります。そのほかの活動にも関心を寄せて参加されていますが、特に剪定と草引きには格別のリーダーシップを発揮されて病院職員と連携を取り、中庭の紫陽花を毎年きれいに咲かせてくださっています。これからも病院ボランティアグループ活動をよろしくお願いたします。

特定医療法人 誠仁会

大久保病院

〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1
tel. (078) 935-2563



交通機関をご利用の方

- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
- 「大久保」駅北口より神姫バス
- ②のりば 19「山手台」行き
- ③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分

車をご利用の方

- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

大久保病院だよりは
ホームページでもご覧になれます



◀Instagramはじめました

地域医療に
想いをかけて

特定医療法人誠仁会

大久保病院だより

2024年
8月8日
No.54

編集・発行 | 特定医療法人誠仁会 大久保病院 地域医療連携室 | 明石市大久保町大窪2095-1 TEL078 (935) 2680 FAX078 (935) 2684

経鼻内視鏡 大腸CT 負担少ない検査で早期発見

当院消化器内科でも年々増加している内視鏡検査。苦手な方も多いかもしれませんが、検査当院で取り組んでいる検査方法をご紹介します。

消化器内科では、上部・下部内視鏡検査に注力しています。

上部内視鏡検査（胃カメラ）は口からカメラを挿入するため嘔吐反射「オエッ」が辛く、もう二度とやりたくないと考えている方が多いのですが、そんな方には経鼻内視鏡検査がおすすめです。この検査は吐き気が起きにくく、もう二度と受けたくないと考えていた方の実に90%以上が「鼻からならまた受けてもいい」との回答結果もあります。

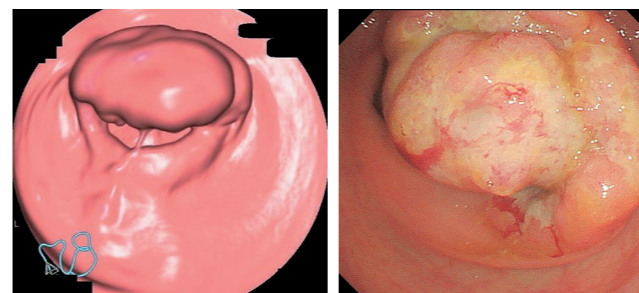
また当院は、鎮静剤を用いて痛みを配慮した内視鏡検査もおこなっております。しかし、大腸内視鏡検査は、上部内視鏡検査に比べ、検査所要時間が長い等のことから抵抗感がある方は多いです。そこで、おすすめしているのが内視鏡を挿入せず、CT撮影により大腸の3D画像を作成して診断する「大



院長 山村 誠

腸CT検査」です。6mm以上の病変等があれば改めて内視鏡検査を行います。まずは気軽に受けられる検査として不安感が強い患者さんにご案内しています。

また、潰瘍性大腸炎・クローン病などIBD（炎症性腸疾患）が専門で、多くの症例を扱っています。



がんが見つかった
大腸CT画像

同内視鏡検査画像



内視鏡実績数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
上部内視鏡(胃カメラ)	3,169	2,951	3,223	3,270	3,412
下部内視鏡検査	664	557	617	562	578

病院への通院にお困りでは ありませんか？



訪問診療のご案内

現在、大久保病院では訪問診療を2名の医師で行っています。訪問診療とは、患者様のための定期的な在宅医療のことです。

基本的に病院に通院することが困難な方であれば、医師が定期的にご自宅を訪問し「お変わりありませんか？」と体調管理を行います。

対象となる患者さん

- 歩行が困難で通院が困難
- 脳梗塞や神経疾患などにより身体機能が低下している
- 寝たきり、またはそれに近い状態
- 末期がんなどでご自宅での療養を希望

※往診とは違います

往診とは通院できない患者さまの要請を受けて医師がその都度診察を行うことです。

訪問エリア

大久保病院から車で30分以内が目安
(大久保病院から半径16km以内)

診察料金

1回 3190円(1割負担) / 9560円(3割負担)

訪問日

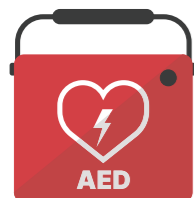
第2、4木曜日 11:00～ 順次訪問

第1火曜日 10:00～ 順次訪問

※病状に応じて医師との相談により訪問回数は決定していきます

問い合わせ先

大久保病院 地域連携室 tel(078)935-2860 直通
受付時間/8:45～17:00(月曜日～金曜日)



BLS講習会再開

コロナ禍で一旦休止していた院内の職員を対象としたBLS講習会が6月から再開しました。

BLS (Basic Life Support) とは、心停止の兆候がある人に対して行われる一次救命処置のことで、院内外に関わらずBLSが必要となる状況に遭遇したら適切に対応できることが重要です。看護師だけでなく理学療法士・臨床工学技士・医師補助など多職種スタッフを対象に、循環器内科の佳山医師の指導のもと受講と実習を行っていきます。

突然目の前で、人が倒れ意識がない状況を見たとき、安全確認と周囲の状況を確認し、応援を呼びま



す。今回は院内を想定し、緊急コールとAEDと応援要請ができるように練習しました。CPR (心肺蘇生法) については、効果的な胸骨圧迫・適切なBVM換気の実践、またAED取り扱いについて講義を受け実践しました。AEDは当院内にも5台設置しています。

BLSは実践できることが重要です。安全な医療提供のため、どの職員も対応できるように講習会を続けていく予定です。



市民講座

テーマは、
話題の『腸活』

栄養管理科



5月11日(土)・18日(土)の2週にわたり、大久保北コミュニティー・センターにて、市民講座を開催いたしました。地域の38名の皆さまにご参加いただきました。

今回のテーマはテレビやSNSでも話題の『腸活』。



腸内細菌が腸の病気だけではなく、生活習慣病の発症にも深く関わっていること、さらに第2の脳ともいわれます。睡眠やストレスにも関係している、と注目されています。兵庫ヤクルト販売(株)より講師をお迎えし、腸内には約100兆個(約1kg)の腸内細菌が働いており、私達の健康のカギをにぎっていることや、腸内フローラのバランスを保つことの重要性について、詳しくお話をいただきました。

また、当院の管理栄養士より腸を育てる・応援する食品やレシピについて、理学療法士よりお通じ改善に効果のある運動や生活習慣病予防のための最新トピックスについてお話をさせていただきました。

今後も様々なテーマで市民講座の開催を予定しています。皆さま、ぜひご参加ください。

リハビリ通信

リハビリテーション科

第6回

とろみ剤について

お茶やジュースなどを飲んだ後にムセる方はいませんか？
「私かも！」と当てはまる方は一度とろみ剤を使用してみてもいいでしょうか。

超高齢化社会の日本では、誤嚥性肺炎で口から食べる事が難しくなる方が増えています。食事の形や柔らかさを調整するだけでなく、水分にとろみを付けることで食べたり・飲んだりしやすくなることもあります。

近年はドラッグストアやインターネットで手軽に買える時代になっています。また、某有名喫茶店でもとろみコーヒーがメニューにあり、とろみの付いた飲み物が身近になっています。

水分にとろみが付いていることに抵抗感を持たれる方もおられるかもしれません。とろみ剤は片栗粉とは異なりますが、酢豚やグラタンなどトロツとした美味しい食べ物も沢山あります。とろみが付いていることに対してマイナスなイメージではなく、飲みやすくなる・食べられるようになる、という感覚で、是非試してみてください。

